くまそう



vol.32 26.11.

autumn season

Kumagaya
General
Hospital
News Letter

CONTENTS

診療科紹介 産婦人科　委員会紹介 災害対策委員会
総合健診センターの紹介　入職医師 紹介
まちの医療機関　くまそうTOPICS

社会医療法人
熊谷総合病院

診療科紹介

産婦人科



産婦人科医長

柏原 聡一郎 先生

お腹に傷をつくらない婦人科手術

― vNOTES（経腟的内視鏡手術）という新しい選択肢 ―

婦人科手術には、お腹を切開する開腹手術や、小さな穴からカメラと器具を入れる腹腔鏡手術があります。
vNOTES（ブイノーツ）は、腟から内視鏡と手術器具を挿入し、お腹の表面に切開創をつくらずに行う手術です。

従来の腹腔鏡手術（お腹からのアプローチ）	vNOTES（腟からのアプローチ）
	
お腹に3〜4か所の小さな手術創を作ります（一般的に5〜12mm程度）	お腹手術創を作りません（手術は腟から行います）

vNOTES はどのような手術？

腟の奥から腹腔内へアプローチし、内視鏡で手術部位を確認しながら治療します。
お腹の表面に手術創が残らないことが特徴です。
腟の内部には切開・縫合部があり、身体への負担がまったくない手術ではありません。

従来の腹腔鏡手術との違い

比較項目	通常の腹腔鏡	vNOTES
器具を入れる場所	腹部の小切開	**腟の奥**
腹部の手術創	小さな創ができる	**原則としてできない**
術後の痛み	小切開に伴う痛みがある	**軽減する可能性がある**

期待されるメリット

腹部の手術創が目立たないことに加え、研究では、従来の腹腔鏡手術と比較して術後の痛みが少なく、
回復が早い可能性が報告されています。ただし、効果には個人差があり、病気や術式によって異なります。

安全性を大切に、一人ひとりに合った術式を

当院での対象となる患者さん

当院では、安全性を重視し、比較的手術難易度が低いと判断できる症例に限ってvNOTESを実施しています。そのため、対象となる患者さんは限定されます。良性と考えられる卵巣・卵管の病気などが検討対象となりますが、実際の対応術式は診察時にご確認ください。

すべての方に適しているわけではありません

病変の大きさ・位置、悪性腫瘍の可能性、過去の手術歴、子宮内膜症や骨盤内炎症の既往、
癒着が疑われる場合などは、vNOTESが適さないことがあります。
診察や超音波・MRIなどを参考に、通常の腹腔鏡手術などを含めて適切な方法を検討します。

手術中に通常の腹腔鏡へ変更することがあります

腹腔内の癒着は、術前の検査だけでは十分に評価できない場合があります。
手術を開始してから強い癒着や視野の確保が難しい状況、出血などが判明した場合には、
安全を優先して腹部に小切開を追加し、通常の腹腔鏡手術へ移行することがあります。
状況によっては開腹手術が必要となる可能性もあります。

患者さんへ

「お腹に傷ができない婦人科手術」に関心がある方は、婦人科外来でご相談ください。
vNOTESにこだわるのではなく、病気の状態と安全性を第一に、最適な治療方法をご提案します。

地域の医療機関の先生方へ

良性婦人科疾患で手術適応のある患者さんのご紹介を承ります。vNOTESの適応は当院で診察・画像所見等を確認したうえで慎重に判断します。適応外の場合は、通常の腹腔鏡手術などをご案内します。

産婦人科 医師体制

		月	火	水	木	金	
午前	一般	柏原	柏原	佐久間	佐久間	佐久間	※不妊症の方は水曜と月、金午前の診察です。
		佐久間	中村	梶原（10時～）	岡野	中村	
		満下	非常勤				※月曜午後の柏原医師は、予約制です。
午後	一般	柏原（予約制）			篠﨑（予約制）		※木曜の篠﨑医師は、予約制です。
		満下（予約制）					※月曜の満下医師は、予約制です。
	不妊症	梶原					※不妊症外来は14時～15時30分までの受付です。（予約不要）

くまそう HP
- 産婦人科 -

社会医療法人
熊谷総合病院　〒360-8567　埼玉県熊谷市中西4-5-1
TEL：048-525-6779（地域連携室直通）
FAX：048-525-6769（地域連携室直通）　https://www.kumasou.or.jp/

kumasou 委員会紹介

災害対策委員会

財務管財課　課長
江原 誠

災害対策委員会は、病院長を中心に各部門責任者・防災担当者で構成され、災害時における病院機能の維持と安全確保を目的として活動しています。災害発生時の初動対応、情報伝達、避難誘導、ライフライン確保など、病院運営に必要な体制整備を行い、患者・職員・来院者の安全を守る仕組みを構築しています。

院内での災害対策の活動

院内では、災害時の対応力向上のため、設備点検、避難経路の確認、備蓄品管理などを継続的に実施しています。これにより、災害発生時に迅速かつ的確な対応が可能となるよう、日常的な体制強化を図っています。





（Disaster Medical Assistance Team）埼玉DMAT＝災害派遣医療チーム

大規模災害や事故発生時に、被災地へ迅速に出動し救急治療を行うための専門的訓練を受けた医療チームです。1チームは、医師1名・看護師2名・業務調整員1名の計4名で編成することが標準となっています。当院では、今後日本DMAT隊員資格の取得を進め、災害拠点病院の指定を目指して準備を進めております。



2026.8.29
第47回　九都県市合同防災訓練
熊谷総合病院　DMAT　参加
場所：くまがやスポーツ文化公園

点検・巡回のポイント

災害対策委員会の活動として、院内巡回および設備の操作方法についてレクチャーを実施している。
主な確認項目は以下のとおりです。

- 院内設備の設置場所の確認
- 非常用電源の位置確認
- 衛星電話の使用方法
- 避難経路・誘導表示の確認
- 災害備蓄品の管理状況の確認



災害対策委員会の主な活動

1. 災害対策マニュアルの作成・改訂（2026年更新中）
2. 災害訓練の企画・実施
2-1 大規模災害訓練（１０月実施）…トリアージ訓練・避難誘導訓練・緊急連絡訓練
2-2 防火避難訓練（６月実施）…火災発生時初期訓練、消火器訓練。携帯搬送の利用訓練→避難器具を用いての訓練（避難訓練及び大規模災害訓練時）
3. 各種専門委員会との連携調整
4. 地域防災機関との連携

院内での災害対策の活動

水道局との緊急時給水車要請体制、井戸水の活用による６日以上の飲水確保、近隣のスーパーマーケットとの食料緊急供給体制、非常用発電機燃料（重油の確保）
近隣のガソリン・石油
販売会社との連携を取ります。



院外での災害対策の活動

災害は地域全体での対応が不可欠であり、当院では地域の消防署や医師会、医療機関、市役所と連携し、災害時の医療提供体制の強化に取り組んでいます。

食料について





当院では3日分の食料備蓄を確保しているものの、院内の保管スペースの制約から、これ以上の備蓄拡張は現状では困難です。そのため、近隣のスーパーマーケットとの災害時連携体制を２０２６年8月に構築し、当院が水と医療面の支援を担保する代わりに、店舗側から追加3日分の食料供給を受ける方向で調整しています。これにより、院内備蓄3日分と店舗側連携3日分を合わせて、災害時には6日間の食料確保を見込んでいます。

水について



水はペットボトルによる3日分の備蓄を確保しているほか、地下水の上水化設備を今年中に設置する計画で、すでに業者との契約を完了しています。設備が稼働すれば、地下水を上水として利用できるため、ペットボトル備蓄と地下水の2重確保により、実質的に6日以上の供給が可能となります。地下水は供給限度がないため、災害時の飲料水確保において大きな強みとなります。さらに受水槽給水管の破損時には、水道局の給水車の手配が可能となっております。

3日分の必要備蓄量まとめ





項目	1人1日	710人1日	710人3日	単位
お米	0.18 kg	127.8 kg	383.4 kg	kg
調理用水	0.9 L	639 L	1,917 L	L
クッキー	6 本	4,260 本	12,780 本	本
飲料水	18 本	12,780 本	38,340 本	本

電気について

電力については、発電機用燃料容量7000ℓ、7000ℓ、6000ℓ、の合計20000ℓを確保しており、既存の発電設備と合わせて6日間の電力供給が可能な体制を維持しています。災害時でも医療機能を継続できる水準のライフライン管理が確立されています。近隣のガソリン・石油販売会社との提携体制をとっており、追加の手配が可能な確保契約をしている状態です。





まとめ

以上のように、当院では食料・水・電力の各面で6日間の継続運用を可能とする体制を整備しており、特に地下水の上水化による水の2重確保、スーパーとの連携による食料供給体制、重油確保による電力維持能力は、災害連携病院から災害拠点病院へランクアップする際の「強み」として活用できる内容となっています。近隣のスーパーマーケットとの連携は現時点では確定していませんが、当院としてはこれらの体制をもって災害時のライフライン維持を高水準で実現する方針です。



イメージ

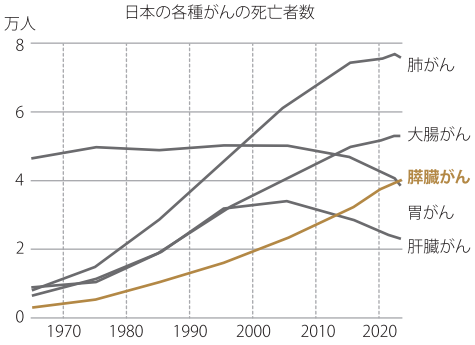
総合健診センターからのお知らせ

今回は、膵臓がんについて触れたいと思います。近年、膵臓がんに罹患される方が増えており、がんの死亡者数では男性4位、女性3位となっています。(2024年　がん対策推進協議アクション)膵臓がんの5年生存率は他の臓器に比し、あきらかに低く、男性女性ともに約12%と低率です。よって、早期発見・早期治療が望まれるのですが、残念ながら自治体のがん検診などには、膵臓がんに焦点を当てた検査がございません。また、膵臓がんは早期の場合はほとんど無症状で、多くは進行してから発見されることが多いと言われています。
従って、ご自身の意思で膵臓がんをみつけることができる検査をお奨めしております。

がん死亡数の順位(2024年)

	1位	2位	3位	4位	5位	
男女計	肺	大腸	膵臓	胃	肝臓	大腸と結腸と直腸に分けた場合、結腸3位、直腸7位
男　性	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓	大腸と結腸と直腸に分けた場合、結腸4位、直腸7位
女　性	大腸	肺	膵臓	乳房	胃	大腸と結腸と直腸に分けた場合、結腸3位、直腸10位

日本の各種がんの死亡者数



厚生労働省「人口動態統計 2023」

当院では、膵臓がんドックとPET-CTがんドックの２種類をご用意しております。

膵臓がんドック

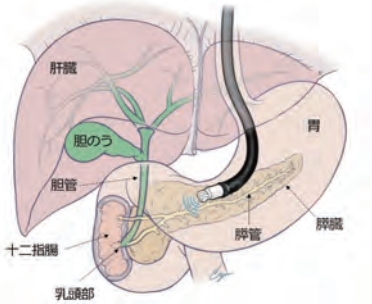
■ 超音波内視鏡(EUS)検査 ： 胃や十二指腸から至近距離で膵臓を観察するため、小さな早期の膵がんや膵管の変化を見つける能力が 非常に高いです。

■ MRI(MRCP)検査 ： 放射線被ばくがなく、造影剤を使わずに膵管や膵嚢胞(すいのうほう)などの形状を詳しく描出できます。

■ 血液検査：膵臓に関連する項目や腫瘍マーカーなどを測定します。

超音波内視鏡(EUS)を施行する際、鎮静剤を用いますので、ご自身の運転による車、自転車等でのご来院は御容赦願っております。
　このような有用な検査を組み合わせたドックを展開している施設は多くありませんので、是非、御検討下さい。

EUS(Endoscopic Ultrasonography)：(超音波内視鏡)



出典：一般社団法人 日本胆道学会
https://www.tando.gr.jp/qa/qa12/

実 施 日 ： 毎週　木曜日
所要時間 ： 午前　8:30　ご来院
　　正午過ぎにご帰宅
(お目覚めになられて、鎮静剤の影響を確認)
費　　用 ： ￥55,550-(税込)

PET/CTがんドック

御存じの方も多いと存じますが、当院にはPET/CTによるドックも展開しています。CTやMRIが臓器の形を映し出すのに対し、PETは細胞の代謝を観察する検査法です。がん細胞は正常細胞の３～８倍のブドウ糖を取り込みます。PETはこれを利用し、疑似ブドウ糖製剤(FDG)を用い、このFDGの分布から、腫瘍の存在を見つけます。PET/CTは、PETより得た情報とCT画像とを同時に取り込む機器で、精度の高い検索を行うことができます。
＊全身の検査になります。

-総合健診センターHP-

入職医師紹介



○氏名　須賀（すが） 政裕（まさひろ）
○専門　消化器内科
○出身大学　順天堂大学
○趣味　卓球、辛いものを食べること
○自己紹介・あいさつ

10月から1年間、消化器内科医として勤務させていただきます、須賀 政裕と申します。以前こちらの病院では初期研修医として働いていたので、古巣に帰ってきた気持ちです。熊谷の医療に微力ながらも貢献できればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



○氏名　佐藤（さとう） 多未笑（たみえ）
○専門　消化器外科
○出身大学　山形大学
○趣味　レザークラフト、歌うこと
○自己紹介・あいさつ

胃を中心に消化器の腹腔鏡手術に注力して参りました。急性腹症、良性疾患にも対応します。粘り強く最善を尽くします。よろしくお願いします。



○氏名　長橋（ながはし） 祐矢（ゆうや）
○専門　皮膚科
○出身大学　大阪医科大学
○趣味　ダイビング、読書
○自己紹介・あいさつ

懸命に努めて参ります。
よろしくお願いします。

○氏名　柳田（やなぎだ） 哲志（さとし）
○専門　腎臓内科
○出身大学　山形大学
○趣味　バレーボール
○自己紹介・あいさつ

よろしくお願いします。



～くまそうの医療連携パートナーをご紹介いたします～

まちの医療機関

No.038

別府中央内科クリニック　TEL:048-580-4116

https://beppu-cl.com/

■診療科　内科・消化器内科
■住所　熊谷市別府 4-240-1
■院長　荒井　亮士 先生
■駐車場　20台
■診療所の特色

内科、消化器内科を専門とし、胃、大腸内鏡検査を中心に診療を行っています。消化器症状の診療から内科一般、生活習慣病まで幅広く対応し地域の皆様が安心に相談できる身近なクリニックを目指しています。患者様の不安や負担に配慮し、ひとりひとりに寄り添った丁寧な診療を心がけています。

■院長先生のモットー・大切にされていること

病気の早期発見、早期治療を大切にし皆様の健康を守る医療を目指しています。



	月	火	水	木	金	土	日
AM 9:00～12:00	●	●	●	●	●	● 12:00まで受付	–
PM 15:00～18:00	●	●	●	–	●	–	–

■休診　木・土(午後)・日・祝です。
■受付時間　8:30～11:30、14:30～17:30

No.039

くまがやクリニック　TEL:048-523-0003

https://www.kubojima.com/kumagaya/

■診療科　内科・リウマチ科・腎臓内科
■住所　熊谷市大原　1-17-38
■院長　安部　望 先生
■駐車場　40台
■診療所の特色

くまがやクリニックは、2026年7月にかみのクリニックと統合・移転し、新しいくまがやクリニックとして生まれ変わりました。透析患者様や慢性腎臓病の方を中心に診療を行っておりますが、そのほかにも糖尿病、高血圧症、膠原病をはじめとする一般内科の診療にも幅広く対応しております。人工透析を中心とした専門的な治療と、地域のかかりつけ医としての身近な診療の両方を、より充実した体制でご提供してまいります。

■院長先生のモットー・大切にされていること

患者様と医師及びスタッフとの信頼関係が最も重要であり、日ごろから互いに尊重し合い、みんなが思いやりの心を持ち、健康で豊かな社会が広がることを願っております。



		月	火	水	木	金	土	日
腎臓内科	9:00～17:00	●	●	●	●	●	●	–

■休診日　日のみ

		月	火	水	木	金	土	日
内科、リウマチ科	AM 9:30～12:00	●	●	●	●	●	●	–
	PM 14:30～17:00	●	●	●	–	●	–	–

■休診日　木・土(午後)・日・祝

くまそう TOPICS

7/28 埼玉県立熊谷特別支援学校の新作品を展示しました
“アートで築こう地域の輪”



正面玄関2階の通路に、埼玉県立熊谷特別支援学校の生徒さんによる作品を展示しています。毎年定期的に作品の交換が行われます。院内に来院された際は、少し足を止めて、ご覧いただけると幸いです。素晴らしい感性のある作品です。当院は、一昨年から特別支援学校の生徒さんの活躍の場のとして作品展示スペースを提供しています。

7/29.30.31 看護部 インターンシップ

7月29日30日31日の3日間、看護学生向けのインターンシップを開催しました。3日間で約40名の参加がありました。病棟で看護師業務について見学を行いました。学生さんから業務について質問を受けている姿が見られ、職場の雰囲気が感じられたと感想を頂きました。暑い中、多くの学生さんにご参加頂きありがとうございました。





8/5.6 看護部 ふれあい看護体験

高校生を対象とした、ふれあい看護体験を２日間開催しました。県内の高校より14名が参加しました。
病院見学や看護師のお仕事体験をしました。みなさんとても真剣に取り組んでいただき、看護師や病院で働く人々の姿を間近で感じていただけたと思います。この中から未来の医療人が生まれることを期待しています。





8/8 第10回 くまそう ICLSコース開催

院内外から受講生と指導者が集まり、二次救命処置の実践的なトレーニングを実施しました。
今後も地域医療支援病院として、地域の医療の質向上と救急医療の発展に努めてまいります。





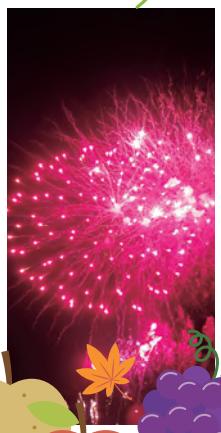
8/8 令和8年 熊谷花火大会

今年も救護所の対応をさせて頂きました。医師・救命士と共に、熱中症・けがなどの対応をしました。次年度に生かしたい課題も見つかりました。貴重な体験が出来ました。









8/14 2026年 第3回 KumaKumaカフェ

◆ 前半：栄養科によるミニレクチャー「食事と体調」　化学療法等で食欲が出ない時の工夫や、栄養補助食品の活用法など、体調管理に役立つヒントを学びました。　◆ 後半：水引キーホルダー作り　参加者の皆様がそれぞれの色合いや仕上がりを楽しみながら、和気あいあいと温かい交流の時間を過ごされていました。







8/28 第4回 くまがや在宅褥瘡ケアネットワーク @kumasouホール

くまがや在宅創傷ケアネットワークは皆様のお陰で第4回を開催することが出来ました。今回は「排泄ケア」を主題とし、座学から皆様が普段行っている「おむつ交換」を正しい方法で演習していただきました。参加者からは「つけ方でこんなに違のか」や「間違って覚えていた」などの声をいただき、排泄ケアの基本を学んでいただいたのではないかと思います。





8/29 第47回 @熊谷スポーツ文化公園 九都県市合同防災訓練 当院、DMAT参加

地域の医療、警察、消防、自衛隊のみならずガス、電気、水道などのインフラ関連会社なども参加しました。当院からも地域DMAT隊員が傷病者救助訓練に参加しました。





9/19 くまそう市民公開講座 肝臓病教室 @kumasouホール

コロナ禍明けでは最初の対面型、肝臓病教室開催となりました。今回は脂肪肝について医師・臨床検査技師・管理栄養士から講演を行い、多数の方々にお集まり頂く事が出来ました。当日の様子は当院ホームページの「Web講座 肝臓病教室」にて後日配信を予定しておりますので是非ご覧ください。

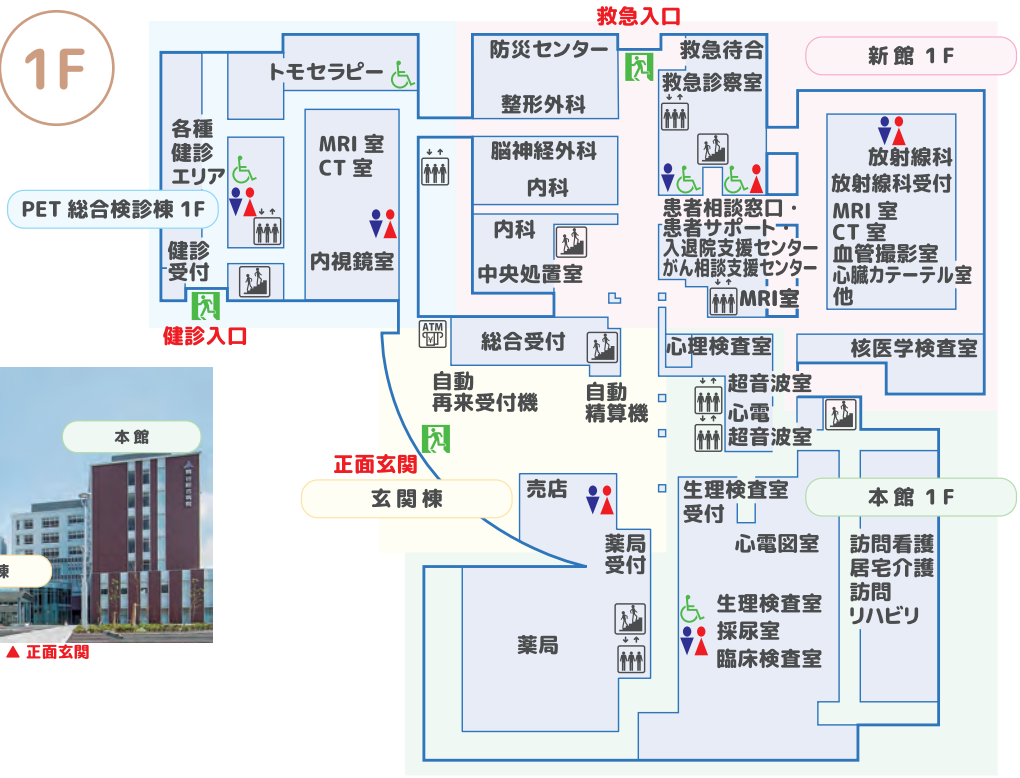




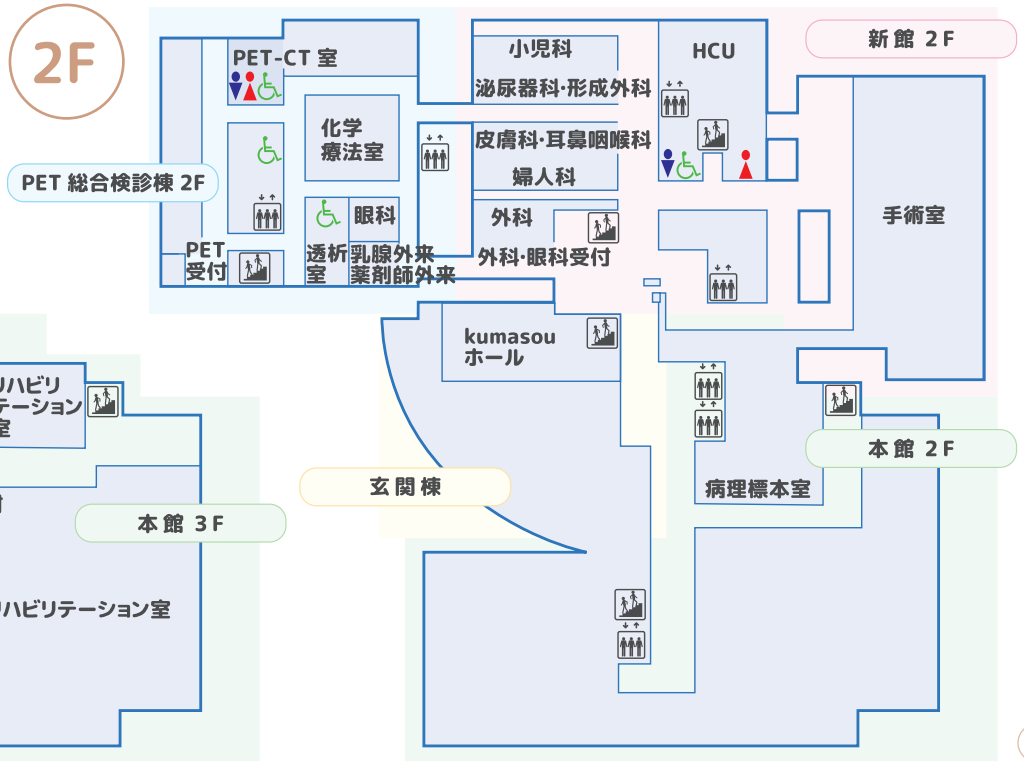

くまそう 院内マップ 1F～3F



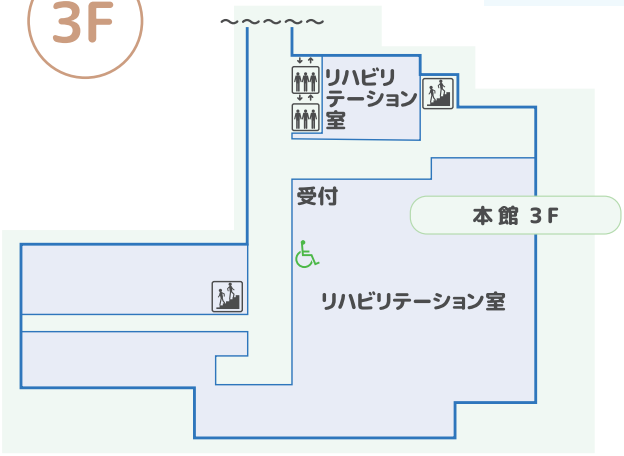
1F



2F



3F



くまそう QI(クリニカルインディケーター)

紹介初診数	826
紹介率	68%
逆紹介率	81%
救急搬送件数	444
うち小児科	35
平均在院日数	10.7
手術件数(手術室)	320
病床稼働率	93%

2026年9月

病院理念

わたくしたちは、この地に歴史をきざむ熊谷総合病院に勤める医療人です。
わたくしたちは、この地にふさわしい専門的視野と未来への展望に立って、ここに新生熊谷総合病院の病院理念を制定いたします。

一. わたくしたちは地域の一員として、すべての患者さんを心あたたかく迎え入れます。
一. わたくしたちは地域の医療を常に高く保つため、みずから進んで学習します。
一. わたくしたちは地域の未来をになう若き医療人の育成に励みます。
一. わたくしたちは地域の必要に応える最新医療を提供し続けます。

そしてわたくしたちは地域のあらゆる機関と協力して世界に誇れる病診連携をこの地、熊谷に築きあげます。

日本医療機能評価機構
認定第 JC2211 号
機能種別版評価項目
(3rdG:Ver2.0　一般病院 2)

社会医療法人
熊谷総合病院
〒360-8567 埼玉県 熊谷市 中西 4-5-1
TEL：0570-099-080 (ナビダイヤル)
FAX：048-523-5928 (代)
https://www.kumasou.or.jp/

くまそうHP　LINE友、インスタ友　募集中!!

表紙 /「荒川公園」熊谷駅南口から桜堤に抜ける手前に市民の憩いの公園。本物の蒸気機関車の展示もあり散歩に良い所。　発行 / 熊谷総合病院 広報委員会